

## 2015年5月 会社の雰囲気を1W<sup>7分</sup>明るくするコミュレポ

皆さん、こんにちは。私は、コミュニケーションについての気づきを毎月1回、振り返ることにしています。せっかくなので日頃お世話になっている皆さんにもシェアできればと思いこのようなレポートを記述することにしました。ご笑読頂ければ幸いです。

丹羽/佐之

### ここでも「ビジョン」!?

この誌面でお話したことがある障害者就労継続支援A型事業所（以下、A型事業所）という許認可制事務所の立ち上げを私は計画しています。きっかけは、ユメオカで築き上げてきた予防管理型歯科医院向けに「ありそうでなかったサービス」を実現することから発案した事業です。そして今、住んでいる神戸という土地を自分の地元として繋がっていきたいという思いが重なり、この事業形態にしました。このA型事業所には、通常会社とは異なり「サービス管理者」となる責任者の採用が必要です。応募の結果、資格と職務経歴の条件に合う7人の方と面接しました。私は、面接する時、必ず事業の**スピリッツ**、**ビジョン**をお伝えします。今回の場合では

#### 【カンパニー・スピリッツ】

『可能性を見つけ、輝く姿への応援』

#### 【ビジョン】

1. 障がい者がフル勤務で1人当たり年収200万円に
2. 「ありそうでなかったサービス」の創造
3. 障がい者が自然に関わり合える社会環境への貢献

です。ビジョンを細々伝えても、相手も面食らってしまうため、3つぐらいにしぼり面接時に説明します。すると、共感いただけの方は、面接の緊張感がとけ、必ず表情が打ち解けてくる感じになります。そして、この話をした後、私は次のように尋ねます。

「今の話をお聞きになられて、〇〇さんが今までのご経験から貢献したいな、  
と思えることは何かございますか？」

すると例えば「私はリハビリ施設で働いているのですが、そこに脳梗塞になった50歳の男性がリハビリされています。その方には、大学生のお子さんもいらして、ちょうどお金がかかる時期にきています。奥様が働いているのですが、生活も苦しくなり、結局、家も売却されました。そういう方々の力になりたい、と欲していたため、この事業所がそれになると思えました」といった回答を聞かせていただきます。このような話を聞かせてもらうと、ビジョンへの共鳴度が分かるだけでなく、私自身も「そういう方々のために何としてもこれを成功させなければ」と奮起する気持ちになります。面接では過去の経歴やスキルの確認、給与などの条件面の話に終始しがちですが、スピリッツやビジョンを最初に伝えることで、お互いの**率直な想いを交流**でき、条件面ばかりを見ていると“迷う採用”が“確信を与えてくれる採用”になると自身の経験から感じました。職場では日常的に様々な事件、珍事! ?があるものですが、経営方針に共鳴してくれたスタッフ達であれば、経営者のストレスも最小限になると私は思います。